

 評価のポイント

CL-Ⅰ. ニーズを捉える力（精神科）

[8-1] 精神状態のアセスメント2 -精神状態をとらえる-

① 精神的現在症を把握する方法を説明できる。

全3問は、実際に精神的現在症をアセスメントするために、その基本となる（データを収集するための）観察、把握する方法をおさえるために出題しました。

①精神的現在症を把握する方法として、行動を観察する、その人が体験していることを語ってもらう、心理テストの結果を確認するなどがあります。把握するときには、観察、質問をするという態度ではなく、まずは対象者の訴えを聞き、悩みを受け入れるという気持ちで臨みます。

② 精神的現在症を把握する場面とその場面でどのような方法をとるか説明できる。

②参加しながら、関与しながら、つまり、実際に看護実践をしながら、患者さんと行動をともにする場面で把握をします。他には、診察室など個室で面接を行い把握することもある。まずは対象者の全体像の概略を観察し、次に客観的症候を観察し、次いで対象者の主観的症候を把握し、最後に再び患者の全体的な状態像として把握する。患者の異常を外から観察して把握するというよりは、本人にとってどのような主観的体験、経験となっているかを想像しながら観察をする。

③ 臨床でアセスメントシートを用いて精神状態のアセスメントを行い、共有する。

③これには正解、不正解はありません。資料にある精神状態のアセスメントシートに、実際に臨床で観察した患者さんについて記入してください。記入内容例については、CL-Ⅲ精神状態のアセスメント4の事例のブロックを参考にしてください。